

ビジネス
を加速するネットワーク

最新のネットワーク
技術を活用する方法

デジタルトランスフォーメーションの推進にあたり、将来的な課題の解決も視野に入れ、ネットワークを最新化することは不可欠です。



適切なネットワークが準備できていないと生じる課題は？

- リモートワーカー業務に支障が生じる
- 新しいビジネスモデルに影響が生じる
- 従業員と顧客のエクスペリエンスが標準以下となる
- 手作業のプロセスにより大量のITリソースが無駄になる
- 危険なセキュリティギャップが生じる



IT意思決定者の59%は、社内で最新のネットワークを提供するために、予算増額が必要と考えています。

出典: The 2022 State of the CIO report

“「ネットワークを最新化することが目的ではなく、ネットワークプロセスを継続することにあります。」”

ネットワーク最新化のための
5つの原則

組織の活動やビジネスを加速化するアジリティなネットワーク構築には何が必要でしょうか？

原則1: 接続性と規模

現状

従来のVLANアーキテクチャベースのネットワークでは、数十万のユーザーとデバイスに対応することは困難です。

今すぐできること

- クラウドベースのサービスによりセキュアなネットワークを迅速かつ効率的に提供する
- 既存のインフラと並行してEVPN/VXLANなどのオーバーレイ・ネットワークを導入する
- 組織のWANソリューションをSD(ソフトウェア・ディファインド) WANで最新化する



セキュリティ

現状

企業は、今日のネットワークの保護に対するギャップを埋めるためのゼロトラストとSASEフレームワークを求めています。

今すぐできること

- セキュリティとネットワーク担当チームが協力して同じツールを使用することを確認する
- ゼロトラストとSASEはネットワーク・ソリューションと統合されるものあり、独立して存在すべきものではないと主張する
- ネットワークとセキュリティのエコシステムを統合することにより、最善のソリューションへの投資を最適化する



回答者の57%が、自分の組織ではゼロトラストを導入済みまたはその予定があると回答しています。



回答者の49%が、自分の組織ではSASEを導入済みまたはその計画があると回答しています。

Ponemon Institute survey

フレキシビリティとアジリティ

現状

急速に変化するビジネスに対応していくために、迅速かつ自動的に、新しいあるいは変化する状況に対応できるネットワークが必要です。

今すぐできること

- 現在のクラウド・ネイティブのネットワーク管理ツールが、自社に必要な機能とスケーラビリティを備えていることを確認する
- クラウドでもオンプレミスでも配備できるクラウド・ネイティブのサービスを採用する
- 現在の設備と強制敵なアップグレードに固執しないよう、ライセンス条件に注視する



ネットワークの最新化のメリットは？

- 新しいネットワーク・ソリューションを配備するための時間が、数日、数週間から数分に短縮される
- エッジからクラウドまで、一貫したユーザー・エクスペリエンス
- 予算とスタッフの制約を緩和する新しい購入(利用)モデル
- 複雑なネットワークとセキュリティのプロセスの自動化
- AIによる分析で問題解決までの時間を短縮

NaaSの導入に関する詳細と導入開始プロセスについては、電子書籍「デジタル・トランスフォーメーションに不可欠なネットワークの最新化とは」をお読みください。

電子書籍をダウンロード